

2019 年度第 11 回価格審査会の開催について

2019 年度第 11 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、当財団の価格情報誌の発行前にその掲載価格の妥当性等について、外部の有識者によって審査を行うものです。

開催日時	2020 年 2 月 14 日(金) 10:00 ~ 11:30	
場 所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
委 員	田中 弘	日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 技師長
	江川 浩	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長
	桜井 力	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長
	関口 司	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 次長
	柳 泰彦	株式会社日本設計 コスト設計部長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：川野辺 豊
	建築調査部	部長：足利 全教、次長：渡辺 弘一、課長：高梨 卓司
	監査審査室	室長：後藤 裕
	調査統括部(事務局)	部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2019 年度第 10 回価格審査会議事録(案) 確認

2019 年度第 11 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1.	「建設物価」3月号、「Web 建設物価」3月号の価格動向
・	価格が上伸した資材は、摩擦接合用高力ボルト（全都市）、レディーミクストコンクリート（日光 A・B・C、川崎 B、松本 B、揖斐川、越前、三次、三好 A・B・C、湧水）、再生砕石類（日向、門川）、仮設・土木用材【バタ角】（中国の各都市）、自由勾配側溝（岡山）、芝（盛岡、仙台）、燃料油【ガソリンスタンド渡し】（大阪、九州の各都市、徳島、松山）などであることを説明。
・	価格が下落した資材は、H形鋼（北海道、鳥取、島根、山口を除く各都市）、鋼板（北海道、東北、鳥取、島根、山口を除く各都市）、レディーミクストコンクリート（仙台）、再生砕石類（福岡）、電線（全都市）、燃料油（近畿、九州を除く各都市）、鉄スクラップ【鉄】（全都市）、非鉄スクラップ【鉛】（全都市）などであることを説明。
2.	注目資材
・	電線【東京】
3.	比較資料
・	企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 1	樹木において、多くの樹種で価格が上昇しているが、その理由はなにか。	全国的な生産者不足や高齢化などから、樹木の生産量は減少傾向にある。こうしたなか、年度末の需要期を迎え、需給がひっ迫した樹種を中心に価格が上昇した。
審議 2	需給及び価格動向において、H形鋼は「需要回復にはまだ相当の時間を要するとの見方」とする一方で、生コンは「今後、再開発事業を中心とした大型物件が多数見込まれている」としているが、両者は連動しないのか。	オリパラ需要がほぼ終了し、再開発需要も一巡したことから、H形鋼、生コンとも都内における足元の需要は低迷している。それぞれの業界で需要回復の見通しは、若干異なるものの、オリパラ後に再開発事業を中心に需要回復を期待する声は共通している。
審議 3	再生砕石は、東京、大阪に対して、札幌、仙台の価格が倍以上も高く推移するなど地域差が非常に大きい。この理由はなにか。	再生砕石は、製品価格に含まれる運搬費の割合が高いことから、遠方から持ち込むことが難しく、非常に地域差が大きい製品である。価格は、地区毎の需給バランスや原材料である廃材の発生状況などで決まると言われており、廃材発生量が多い東京や大阪などの大都市が一般的に安価な傾向にある。
審議 4	オリパラ開催に伴う工事中断により資材価格に影響が出た場合、どのように対応するのか。方針があれば教えて欲しい。	オリパラ期間中も定められた調査手順に従いしっかり調査を行う方針である。また、オリパラに限定しているわけではないが、短期間で大幅な価格変動があった場合は、当会HPに臨時情報（速報版）を出すこととしている。
審議 5	電線の現況のなかで、銅建値が急落したとコメントする一方で、グラフでは急落していないのはなぜか。	グラフに示した銅建値は月間の平均値であり、1月の平均値は前月と比較してほぼ同じであった。一方、銅建値は調査期間中に複数回変動しており、1月上旬から中旬まで70万円代前半で推移した後に2月上旬に64万円まで急落した。
審議 6	電線の見通しに「銅価格下落分」とあるが、どの時点での下落分を指すのか。	2月上旬を指します。
審議 7	カラー亜鉛鉄板が変動した理由はなにか。	台風19号をはじめとする災害の影響からひっ迫気味になっており、これに伴い価格も上伸した。
審議 8	仮設・土木用木材で不足している原木とは、国産材か輸入材か。また、どういった理由で不足しているのか。	国産材である。高齢化の影響などから製材業者が減少した結果、市場への流通量が減少してきている。
審議 9	今期の暖冬により価格に影響を受けた資材はあるか。	暖冬の影響で灯油の需要が減り価格を押し下げる要因となっている。その他では、融雪剤の需要が減っているが価格に影響が出ているとは聞いていない。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 10	木材の価格をみると、国産材は業者の減少などにより上伸する一方で、輸入材は需給緩和により下落している。一般的には価格が安い方へ顧客は流れると思うが、そうならない理由はなにか。	今回、価格変動が見られた国産材は仮設・土木用木材、輸入材は一般建築用木材で、用途と品質が異なり、直接競合することが無いためである。
審議 11	大阪のレディーミクストコンクリートのモニター調査結果をみると、大阪の協組の組織率は 100%であるはずなのに協組の共販価格と異なる回答がある。この理由はなにか。	小口取引や変動前の価格を回答している可能性があるためである。
審議結果	「建設物価」3月号、「Web 建設物価」3月号の価格動向に問題はなかった。	

以 上